

## 第858回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成26年10月20日（月）午後2時から

場 所：県行政庁舎 16階 教育委員会会議室

### 1 出席点呼

### 2 開会宣言

### 3 第857回教育委員会会議録の承認について

### 4 第858回教育委員会会議録署名委員の指名

### 5 議 事

- |       |                        |            |
|-------|------------------------|------------|
| 第1号議案 | 職員の人事について              | (総務課・教職員課) |
| 第2号議案 | 県立特別支援学校学則の一部改正について    | (特別支援教育室)  |
| 第3号議案 | 宮城県立高等学校学則の一部改正について    | (高校教育課)    |
| 第4号議案 | 県立中学校学則の一部改正について       | (高校教育課)    |
| 第5号議案 | 県立学校の管理に関する規則の一部改正について | (高校教育課)    |

### 6 課長報告等

- (1) 平成25年度における児童生徒の問題行動等に関する調査（宮城県分）の結果について  
(義務教育課・特別支援教育室・高校教育課)
- (2) 平成26年度学校の校庭等における空間放射線量測定結果について (スポーツ健康課)

### 7 資料（配付のみ）

- |     |  |         |
|-----|--|---------|
| (1) | 教育庁関連情報一覧について                                  | (総務課)   |
| (2) | 平成27年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項について                     | (高校教育課) |
| (3) | 平成27年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について                    | (高校教育課) |
| (4) | 全国産業教育フェア宮城大会について                              | (高校教育課) |
| (5) | 全国生涯学習ネットワークフォーラム2014宮城大会の開催について               | (生涯学習課) |
| (6) | 宮城県美術館特別展「生誕200年ミレー展 愛しきものたちへのまなざし」<br>の開催について | (生涯学習課) |

### 8 次回教育委員会の開催日程について

### 9 閉会宣言

第2号議案

県立特別支援学校学則の一部改正について

県立特別支援学校学則（昭和43年宮城県教育委員会規則第6号）の一部を別紙のとおり改正する。

平成26年10月20日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

(別紙)

## 県立特別支援学校学則の一部改正の概要について

## 1 改正の趣旨

平成27年度県立特別支援学校高等部の入学希望者数等を勘案し、収容定員を変更するもの。

## 2 改正内容

(単位：人)

	学 校 名	学 科	収 容 定 員								増減
			改 正 前				改 正 後				
			第1学年	第2学年	第3学年	計	第1学年	第2学年	第3学年	計	
1	光明支援学校	普通科	56	67	54	177	<b>60</b>	56	67	183	6
2	小松島支援学校	普通科	35	30	30	95	<b>32</b>	35	30	97	2
3	西多賀支援学校	普通科	14	11	11	36	<b>11</b>	14	11	36	—
4	石巻支援学校	普通科	44	35	27	106	<b>46</b>	44	35	125	19
5	気仙沼支援学校	普通科	19	27	30	76	<b>22</b>	19	27	68	△8
6	名取支援学校	普通科	41	41	50	132	<b>38</b>	41	41	120	△12
7	迫支援学校	普通科	22	32	27	81	<b>27</b>	22	32	81	—
8	金成支援学校	普通科	22	22	23	67	<b>24</b>	22	22	68	1
9	古川支援学校	普通科	27	27	31	85	<b>35</b>	27	27	89	4
10	船岡支援学校	普通科	20	20	19	59	<b>20</b>	20	20	60	1
11	山元支援学校	普通科	14	14	22	50	<b>22</b>	14	14	50	—
12	利府支援学校	普通科	38	38	46	122	<b>43</b>	38	38	119	△3
13	岩沼高等学園	産業技術科	48	40	40	128	<b>40</b>	48	40	128	—
14	小牛田高等学園	普通科	16	16	16	48	<b>24</b>	16	16	56	8
	収容定員を変更しない3校の計 (視覚・聴覚・角田)		78	78	78	234	<b>78</b>	78	78	234	—
	合 計		494	498	504	1,496	<b>522</b>	494	498	1,514	18

## 3 施行期日

平成27年4月1日

県立特別支援学校学則の一部を改正する規則

県立特別支援学校学則（昭和四十三年宮城県教育委員会規則第六号）の一部を次のように改正する。

別表第三第二号の表宮城県立光明支援学校の項中

五六	六七	五四	を	六〇	五六	六七
に改						

め、同表宮城県立小松島支援学校の項中

三五	三〇	三〇	を	三二	三五	三〇
に改め、同表宮城						

県立西多賀支援学校の項中

一四	一一	一一	を	一一	一四	一一
に改め、同表宮城県立石巻支援						

学校の項中

四四	三五	二七	を	四六	四四	三五
に改め、同表宮城県立気仙沼支援学校の項中						

一九	二七	三〇
----	----	----

二二	一九	二七
----	----	----

に改め、同表宮城県立名取支援学校の項中

四一	四一	五〇
----	----	----

三八	四一	四一
----	----	----

に改め、同表宮城県立迫支援学校の項中

二二	三二	二七
----	----	----

二七	二二	三二
----	----	----

に改め、同表宮城県立金成支援学校の項中

二二	二二	二三
----	----	----

二四	二二	二二
----	----	----

に改め、同表宮城県立古川支援学校の項中

この規則は、平成二十七年四月一日から施行する。

一六 一六 一六	四八 四〇 四〇	三八 三八 四六	一四 一四 二二	二〇 二〇 一九	二七 二七 三一
を	を	を	を	を	を
二四 一六 一六	四〇 四八 四〇	四三 三八 三八	二二 一四 一四	二〇 二〇 二〇	三五 二七 二七
に改める。	に改め、同表宮城県立支援学校小牛田高等学園の項中	に改め、同表宮城県立支援学校岩沼高等学園の項中	に改め、同表宮城県立利府支援学校の項中	に改め、同表宮城県立山元支援学校の項中	に改め、同表宮城県立船岡支援学校の項中

改正後

第一条～第十七条 (略)  
 別表第一（第一条の二関係）(略)  
 別表第二（第二条関係）(略)  
 別表第三（第二条関係）(略)  
 一 (略)  
 二 高等部

宮城県立光明支援学校	宮城県立聴覚支援学校						宮城県立視覚支援学校		学 校 名	
	普通科	理容科	被服科	機械システム科	産業工芸科	保健医療科	普通科	学 科		
	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	年限	修業	
	六〇	八	八	八	八	八	一一	学第一	収 容 定 員	
	五六	八	八	八	八	八	一一	学第二		
	六七	八	八	八	八	八	一一	学第三		

改正前

第一条～第十七条 (略)  
 別表第一（第一条の二関係）(略)  
 別表第二（第二条関係）(略)  
 別表第三（第二条関係）(略)  
 一 (略)  
 二 高等部

宮城県立光明支援学校	宮城県立聴覚支援学校						宮城県立視覚支援学校		学 校 名	
	普通科	理容科	被服科	機械システム科	産業工芸科	保健医療科	普通科	学 科		
	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	年限	修業	
	五六	八	八	八	八	八	一一	学第一	収 容 定 員	
	六七	八	八	八	八	八	一一	学第二		
	五四	八	八	八	八	八	一一	学第三		

											改 正 後
宮城県立山元支援学校	宮城県立船岡支援学校	宮城県立古川支援学校	宮城県立金成支援学校	宮城県立迫支援学校	宮城県立角田支援学校	宮城県立名取支援学校	宮城県立気仙沼支援学校	宮城県立石巻支援学校	宮城県立西多賀支援学校	宮城県立小松島支援学校	
普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	
三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	
二二	二〇	三五	二四	二七	二七	三八	二二	四六	一一	三二	
一四	二〇	二七	二二	二二	二七	四一	一九	四四	一四	三五	
一四	二〇	二七	二二	三二	二七	四一	二七	三五	一一	三〇	
											改 正 前
宮城県立山元支援学校	宮城県立船岡支援学校	宮城県立古川支援学校	宮城県立金成支援学校	宮城県立迫支援学校	宮城県立角田支援学校	宮城県立名取支援学校	宮城県立気仙沼支援学校	宮城県立石巻支援学校	宮城県立西多賀支援学校	宮城県立小松島支援学校	
普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	
三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	
一四	二〇	二七	二二	二二	二七	四一	一九	四四	一四	三五	
一四	二〇	二七	二二	三二	二七	四一	二七	三五	一一	三〇	
二二	一九	三一	二三	二七	二七	五〇	三〇	二七	一一	三〇	

改正後

宮城県立利府支援学校 等学園	宮城県立支援学校岩沼高 等学園	宮城県立支援学校小牛田 高等学園
普通科	産業技術科	普通科
三年	三年	三年
四三	四〇	二四
三八	四八	一六
三八	四〇	一六

三 (略)  
第一号様式、第六号様式 (略)

改正前

宮城県立利府支援学校 等学園	宮城県立支援学校岩沼高 等学園	宮城県立支援学校小牛田 高等学園
普通科	産業技術科	普通科
三年	三年	三年
三八	四八	一六
三八	四〇	一六
四六	四〇	一六

三 (略)  
第一号様式、第六号様式 (略)





第3号議案

宮城県立高等学校学則の一部改正について

宮城県立高等学校学則（昭和25年宮城県教育委員会規則第33号）の一部を別紙のとおり改正する。

平成26年10月20日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

## 宮城県立高等学校学則の一部改正の概要について

## 1 改正の趣旨

「平成27年度県立高等学校組織編制計画」の実施及び「平成26年度県立高等学校組織編制計画」の学年進行に係る所要の改正を行うもの。

## 2 改正の概要

## (1) 平成27年度県立高等学校組織編制計画関係

学年制による全日制の課程 (別表第1(第1条関係))

## 【再編統合】

平成26年度

学校名	学科名	各学年の収容定員	計
上沼高等学校	普通科	1学級40人	240人
	農業技術科	1学級40人	
米山高等学校	普通科	1学級40人	240人
	園芸ビジネス科	1学級40人	
米谷工業高等学校	機械システム科	1学級40人	360人
	電気システム科	1学級40人	
	情報技術科	1学級40人	

登米高等学校	普通科	3学級120人	480人
	商業科	1学級40人	

平成27年度

学校名	学科名	第1学年収容定員	第2学年収容定員	第3学年収容定員	計
登米総合産業高等学校	農業科	1学級40人	—	—	800人
	機械科	1学級40人	—	—	
	電気科	1学級40人	—	—	
	情報技術科	1学級40人	1学級40人	1学級40人	
	商業科	1学級40人	—	—	
	福祉科	1学級40人	—	—	
	普通科	—	2学級80人	2学級80人	
	農業技術科	—	1学級40人	1学級40人	
	園芸ビジネス科	—	1学級40人	1学級40人	
	機械システム科	—	1学級40人	1学級40人	
電気システム科	—	1学級40人	1学級40人		

登米高等学校	普通科	3学級120人	3学級120人	3学級120人	440人
	商業科	—	1学級40人	1学級40人	

## 【学級減】

学校名	学科名	第1学年の収容定員	
角田高等学校	普通科	1学級40人減	5学級(200人)→4学級(160人)

## (2) 平成26年度県立高等学校組織編制計画関係

イ 学年制による全日制の課程 (別表第1(第1条関係))

## 【学級減】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
気仙沼高等学校	普通科	1学級40人減	7学級(280人)→6学級(240人)
築館高等学校	普通科	1学級40人減	5学級(200人)→4学級(160人)

## 【学科改編】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
松島高等学校	普通科	2学級80人減	5学級(200人)→3学級(120人)
	観光科	2学級80人増	観光科の新設
水産高等学校	海洋総合科	1学級40人増	3学級(120人)→4学級(160人)
	情報科学科	1学級40人減	募集停止

## 【学科名称変更】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
石巻工業高等学校	機械制御科	2学級80人減	「機械制御科」から
	機械科	2学級80人増	「機械科」へ名称変更

ロ 学年制による定時制の課程 (別表第2(第1条関係))

## 【学級減】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
大河原商業高等学校	普通科	1学級40人減	2学級(80人)→1学級(40人)

## 3 施行期日

平成27年4月1日

宮城県立高等学校学則の一部を改正する規則

宮城県立高等学校学則（昭和二十五年宮城県教育委員会規則第三十三号）の一部を次のように改正する。

別表第一第一号の表宮城県水産高等学校の項中

一六〇	一二〇
四〇	〇

を

一六〇	一六〇
〇	〇

に改め、

同表宮城県石巻工業高等学校の項中

八〇	八〇
〇	〇

を

八〇	八〇
〇	〇

に改め、同表

宮城県気仙沼高等学校の項中

二四〇	二八〇
〇	〇

を

二四〇	二四〇
〇	〇

に改め、同表宮城県角田高等学校の項

中

二〇〇	二〇〇	二〇〇
〇	〇	〇

を

一六〇	二〇〇	二〇〇
〇	〇	〇

に改め、同表宮城県登米高等学校の項中

四〇	四〇	四〇
〇	〇	〇

を

—	四〇	四〇
〇	〇	〇

に改め、同表中

宮城県登米総合 産業高等学校													
福祉科	商業科	情報技術科	電気科	ム科	電気システ	機械科	ム科	機械システ	農業科	ス科	園芸ビジネ	農業技術科	普通科
三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年
男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女
四〇	四〇	四〇	四〇		四〇		四〇						
		四〇		四〇		四〇		四〇	四〇	四〇	四〇	八〇	
		四〇		四〇		四〇		四〇	四〇	四〇	四〇	八〇	

宮城県米谷工業 高等学校			宮城県米山 高等学校		宮城県上沼 高等学校	
情報技術科	ム科	電気システ	ム科	機械システ	ス科	普通科
三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年
男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

に改め、同表宮城県築館高等学校の項中

を

一六〇
二〇〇

を

一六〇
一六〇

に改め、同表宮城県松島高等学校の項中

一二〇
八〇

を

一二〇
八〇

に改める。

別表第二第一号の表宮城県大河原商業高等学校の項中

四〇
八〇

を

四〇
四〇

に改める。

附 則

この規則は、平成二十七年四月一日から施行する。

改正後

改正前

第一条～第三十条（略）

第一条～第三十条（略）

別表第一（第一条関係）

別表第一（第一条関係）

一 学年制による全日制の課程

一 学年制による全日制の課程

宮城県水産高等学校	宮城県石巻工業高等学校	（略）	学 校 名	学 科	年 限	修 業 男 女	学 年 第 一	収 容 定 員
海洋総合科 情報科学科	機械制御科 機械科 電気情報科 化学技術科 土木システ ム科 建築科	（略）			三年	男女	学 年 第 二	
一六〇 一六〇 一一〇	八〇 八〇 八〇 四〇 四〇 四〇	（略）			三年	男女	学 年 第 三	

宮城県水産高等学校	宮城県石巻工業高等学校	（略）	学 校 名	学 科	年 限	修 業 男 女	学 年 第 一	収 容 定 員
海洋総合科 情報科学科	機械制御科 機械科 電気情報科 化学技術科 土木システ ム科 建築科	（略）			三年	男女	学 年 第 二	
一六〇 一六〇 一一〇	八〇 八〇 八〇 四〇 四〇 四〇	（略）			三年	男女	学 年 第 三	

宮城県登米総合 産業高等学校										宮城県登米 高等学校	宮城県角田 高等学校	宮城県気仙沼 高等学校	(略)				
福祉科	商業科	情報技術科	電気科	ム科	電気システ ム科	機械科	機械システ ム科	農業科	ス 科	園芸ビジ ネ	農業技術科	普通科	商業科	普通科	普通科	普通科	(略)
三年	三年	三年	三年		三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	(略)
男女	男女	男女	男女		男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	(略)
四〇	四〇	四〇	四〇		四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一六〇	二四〇	二四〇	(略)
		四〇			四〇		四〇		四〇	四〇	八〇	四〇	一二〇	二〇〇	二四〇	二四〇	(略)
		四〇			四〇		四〇		四〇	四〇	八〇	四〇	一二〇	二〇〇	二八〇	二八〇	(略)

宮城県米谷工業 高等学校			宮城県米山 高等学校			宮城県上沼 高等学校			宮城県登米 高等学校			宮城県角田 高等学校	宮城県気仙沼 高等学校	(略)	
情報技術科	ム科	電気システ ム科	機械システ ム科	ス 科	園芸ビジ ネ	普通科	農業技術科	普通科	商業科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	(略)
三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	(略)
男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	(略)
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一二〇	一二〇	二〇〇	二四〇	二四〇	(略)
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一二〇	一二〇	二〇〇	二八〇	二八〇	(略)
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一二〇	一二〇	二〇〇	二八〇	二八〇	(略)



宮城県築館高等学校	普通科	三年	男女	一六〇	一六〇	二〇〇
宮城県松島高等学校	普通科	三年	男女	一二〇	一二〇	二〇〇
宮城県松島高等学校	観光科	三年	男女	八〇	八〇	二〇〇

二 単位制による全日制の課程 (略)

別表第二(第一条関係)

一 学年制による定時制の課程

宮城県大河原商業高等学校	普通科	四年	夜	男女	四〇	四〇	八〇	八〇
学校名	学科	修業年限	昼夜の別	男女の別	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年
					收容定員			

宮城県築館高等学校	普通科	三年	男女	一六〇	一六〇	二〇〇
宮城県松島高等学校	普通科	三年	男女	一二〇	一二〇	二〇〇
宮城県松島高等学校	観光科	三年	男女	八〇	八〇	二〇〇

二 単位制による全日制の課程 (略)

別表第二(第一条関係)

一 学年制による定時制の課程

宮城県大河原商業高等学校	普通科	四年	夜	男女	四〇	八〇	八〇	八〇
学校名	学科	修業年限	昼夜の別	男女の別	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年
					收容定員			

<p>二 単位制による定時制の課程 (略)</p> <p>別表第三(第一条関係) (略)</p> <p>別表第四(第一条関係) (略)</p> <p>別記第一号様式\別記第四号様式 (略)</p>	<p>二 単位制による定時制の課程 (略)</p> <p>別表第三(第一条関係) (略)</p> <p>別表第四(第一条関係) (略)</p> <p>別記第一号様式\別記第四号様式 (略)</p>
--	--



第4号議案

県立中学校学則の一部改正について

県立中学校学則（平成16年宮城県教育委員会規則第11号）の一部を別紙のとおり改正する。

平成26年10月20日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

県立中学校学則の一部を改正する規則

県立中学校学則（平成十六年宮城県教育委員会規則第十一号）の一部を次のように改正する。

別表宮城県仙台二華中学校の項中

八〇

を

一〇五

に改め、同表宮城県古川黎明中学校の項

中

八〇

を

一〇五

に改める。

附 則

この規則は、平成二十七年四月一日から施行する。

改正後

第一条～第十四条  
（略）

別表（第二条関係）

校 宮城県古川黎明中学	校 宮城県仙台二華中学	学 校 名	修 業 年 限	収 容 定 員		
三年	三年			第一学年	第二学年	第三学年
一〇五	一〇五			一〇五	一〇五	一〇五

改正前

第一条～第十四条  
（略）

別表（第二条関係）

校 宮城県古川黎明中学	校 宮城県仙台二華中学	学 校 名	修 業 年 限	収 容 定 員		
三年	三年			第一学年	第二学年	第三学年
一〇五	一〇五			一〇五	一〇五	八〇



第5号議案

県立学校の管理に関する規則の一部改正について

県立学校の管理に関する規則（昭和32年宮城県教育委員会規則第9号）の一部を別紙のとおり改正する。

平成26年10月20日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁



県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則

県立学校の管理に関する規則（昭和三十二年宮城県教育委員会規則第九号）の一部を次のように改正する。  
別表第二中「南三陸町立戸倉中学校」を削る。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

県立学校の管理に関する規則（昭和三十二年宮城県教育委員会規則第九号） 新旧対照表

改正後		改正前									
<p>別表第二（第八条の三関係）</p> <table border="1"> <tr> <td>連携型高等学校名</td> <td>宮城県志津川高等学校</td> </tr> <tr> <td>連携型中学校名</td> <td>南三陸町立志津川中学校 南三陸町立歌津中学校</td> </tr> </table>	連携型高等学校名	宮城県志津川高等学校	連携型中学校名	南三陸町立志津川中学校 南三陸町立歌津中学校	<p>第一条〜第三十七条（略）</p> <p>別表第一（第八条の二関係）（略）</p> <p>別表第二（第八条の三関係）</p>	<p>第一条〜第三十七条（略）</p> <p>別表第一（第八条の二関係）（略）</p> <p>別表第二（第八条の三関係）</p>	<table border="1"> <tr> <td>連携型高等学校名</td> <td>宮城県志津川高等学校</td> </tr> <tr> <td>連携型中学校名</td> <td>南三陸町立志津川中学校 南三陸町立戸倉中学校 南三陸町立歌津中学校</td> </tr> </table>	連携型高等学校名	宮城県志津川高等学校	連携型中学校名	南三陸町立志津川中学校 南三陸町立戸倉中学校 南三陸町立歌津中学校
連携型高等学校名	宮城県志津川高等学校										
連携型中学校名	南三陸町立志津川中学校 南三陸町立歌津中学校										
連携型高等学校名	宮城県志津川高等学校										
連携型中学校名	南三陸町立志津川中学校 南三陸町立戸倉中学校 南三陸町立歌津中学校										



## 平成25年度における児童生徒の問題行動等に関する調査（宮城県分）の結果について

◇文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」による〔平成26年10月16日公表〕

### 1 調査の趣旨

児童生徒の問題行動等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に繋げていくものとする。

### 2 調査対象期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日

### 3 調査対象（平成25年5月1日現在）

- 仙台市を含む国公立小・中学校・高等学校及び中等教育学校，特別支援学校在籍児童生徒
- 小学校419校（児童数122,447人）
- 中学校218校（生徒数65,401人）
- 高等学校103校（生徒数63,515人）
- 特別支援学校21校（児童・生徒数2,103人）
- ◎ 高等学校の「暴力行為」「いじめ」「中途退学」については、今回から新たに通信制課程も調査対象になっている。

### 4 調査結果の概要

#### （1）暴力行為

中学校の暴力行為の増加は、内陸部の一部中学校における器物損壊の増加が影響している。一方、小学校では、対教師暴力、生徒間暴力、対人暴力のいずれもが減少している。

#### ① 暴力行為発生件数

- 小学校における暴力行為の発生件数は90件で、前年度より33件減少した。
- 中学校における暴力行為の発生件数は821件で、前年度より117件増加した。
- 高等学校における暴力行為の発生件数は173件（通信制課程は0件）で、前年度より1件増加した。

#### ② 暴力行為発生学校数

- 小学校43校（14校減少），中学校143校（14校減少），高等学校66校（8校減少）である。

※カッコ内は昨年度との比較。以下同じ。

#### ③ 形態別発生状況

校種 種別	小学校（件）			中学校（件）			高等学校（件）		
	発生件数		前年度 比較	発生件数		前年度 比較	発生件数		前年度 比較
	H25	H24		H25	H24		H25	H24	
対教師暴力	15	20	-5	80	79	+1	12	9	+3
生徒間暴力	38	70	-32	432	421	+11	99	124	-25
対人暴力	1	3	-2	12	25	-13	9	3	+6
器物損壊	36	30	+6	297	179	+118	53	36	+17
計	90	123	-33	821	704	+117	173	172	+1

#### ④ 加害児童生徒数

- 小学校81人（78人減少），中学校703人（93人減少），高等学校193人（34人減少）である。

## (2) いじめ

いじめ認知件数の増加は、各種研修をとおして教職員のいじめに対する意識が向上したことや複数回のアンケート調査の実施、日常のきめ細かな観察等によって、軽微ないじめも積極的に取り上げて対応してきたことによる。

### ① いじめ認知件数

- 小学校におけるいじめの認知件数は14,535件で、前年度より6,158件増加した。
- 中学校におけるいじめの認知件数は2,741件で、前年度より757件増加した。
- 高等学校におけるいじめの認知件数は340件（通信制課程は0件）で、前年度より15件増加した。
- 特別支援学校におけるいじめの認知件数は8件で、前年度より5件減少した。
- いじめの解消率は小学校99.4%（全国98.2%）、中学校95.6%（全国96.4%）、高等学校93.5%（全国95.6%）、特別支援学校75.0%（全国96.8%）である。

### ② いじめの認知校数

- 小学校241校（15校減少）、中学校162校（10校減少）、高等学校63校（14校減少）、特別支援学校2校（3校減少）である。

### ③ いじめの態様

- 小・中・高等・特別支援学校ともに、いじめの態様で一番多いのは「冷やかしからかい等」で、小学校で約47%、中学校で約70%、高等学校で55%、特別支援学校で約38%となっており、2番目に多いのは、小・中学校、特別支援学校で「軽くぶつかられたり、叩かれたり等」で、小学校で約32%、中学校で約25%、特別支援学校で25%であり、高等学校では「仲間はずれ、集団による無視」で約22%となっている。
- 「パソコンや携帯電話等で誹謗中傷等」が中学校で4番目、高等学校では3番目に多くなっている。

(小学校)

	種 別	認知件数(件)	割合(%)
1	冷やかしからかい等	6,878	47.3
2	軽くぶつかられたり、叩かれたり等	4,688	32.3
3	仲間はずれ、集団による無視	4,034	27.8
4	金品をかくされたり壊されたり等	2,203	15.2
5	嫌なことや恥ずかしいこと等	1,658	11.4

(複数回答・上位5件)

(中学校)

	種 別	認知件数(件)	割合(%)
1	冷やかしからかい等	1,906	69.5
2	軽くぶつかられたり、叩かれたり等	675	24.6
3	仲間はずれ、集団による無視	645	23.5
4	パソコンや携帯電話等で誹謗中傷等	202	7.4
5	ひどくぶつかられたり、叩かれたり等	154	5.6

(複数回答・上位5件)

(高等学校)

	種 別	認知件数(件)	割合(%)
1	冷やかしからかい等	187	55.0
2	仲間はずれ、集団による無視	75	22.1
3	パソコンや携帯電話等で誹謗中傷等	55	16.2
4	軽くぶつかられたり、叩かれたり等	39	11.5
5	ひどくぶつかられたり、叩かれたり等	28	8.2

(複数回答・上位5件)

(特別支援学校)

	種 別	認知件数(件)	割合(%)
1	冷やかしからかい等	3	37.5
2	軽くぶつかられたり、叩かれたり等	2	25.0
2	嫌なことや恥ずかしいこと等	2	25.0

(複数回答・上位3件)

### (3) 不登校

高等学校の不登校生徒数は減少しているが、小学校・中学校の不登校児童生徒数はやや増加している。しかし、小・中・高等学校ともに再登校率は全国値を上回っている。

#### ① 不登校児童生徒数

- 小学校における不登校児童数は490人（出現率0.40%）で、前年度より35人増加した。
- 中学校における不登校生徒数は2,070人（出現率3.17%）で、前年度より14人増加した。
- 高等学校における不登校生徒数は1,404人（出現率2.27%）で、前年度より59人減少した。
- 再登校率は小学校39.3%（全国32.9%）、中学校32.0%（全国29.8%）、高等学校37.8%（全国34.2%）である。

#### ② 不登校児童生徒在籍校数

- 小学校190校（3校増加）、中学校180校（29校減少）、高等学校98校（1校減少）

#### ③ 不登校のきっかけ

- 小学校においては「不安など情緒的混乱」が最も多く、次いで「親子関係をめぐる問題」、中学校においては「無気力」が最も多く、次いで「いじめを除く友人関係をめぐる問題」、高等学校では「無気力」が最も多く、次いで「不安など情緒的混乱」となっている。

(小学校)

	不登校のきっかけと考えられる状況	割合(%)
1	不安など情緒的混乱	18.1
2	親子関係をめぐる問題	15.5
3	無気力	11.7
4	いじめを除く友人関係をめぐる問題	10.0
5	家庭の生活環境の急激な変化	8.7
	いじめ	1.3

(複数回答・上位5件)

(中学校)

	不登校のきっかけと考えられる状況	割合(%)
1	無気力	17.5
2	いじめを除く友人関係をめぐる問題	16.2
3	不安など情緒的混乱	11.3
4	学業の不振	9.2
5	親子関係をめぐる問題	8.1
	いじめ	1.7

(複数回答・上位5件)

(高等学校)

	不登校のきっかけと考えられる状況	割合(%)
1	無気力	26.1
2	不安など情緒的混乱	17.9
3	いじめを除く友人関係をめぐる問題	10.8
4	病気による欠席	8.7
5	あそび・非行	7.4
	いじめ	0.3

(複数回答・上位5件)

### (4) 高等学校中途退学

高等学校の中途退学者数は、通信制課程も調査対象となったため、全国と同様に増加した。

#### ① 中途退学者数

- 高等学校の中途退学者数は1,242人で、30人増加した。
- 通信制課程を除いた中途退学者数は1,078人で、134人減少した。

#### ② 中途退学率

- 中途退学率は2.0%で、0.1ポイント増加した。
- 通信制課程を除いた中途退学率は1.7%で、0.2ポイント減少した。

③ 中途退学の事由

- 「学校生活・学業不適応」を事由とした中途退学者の割合は39.4%で前年度より3.3ポイント減少。
- 「進路変更」を事由とした中途退学者の割合は、28.6%で前年度より0.2ポイント増加。

5 県教委としての対応

今回の調査結果については、震災後3年目の小・中・高等学校、特別支援学校等の問題行動等の状況を示すものである。小学校の暴力行為、高等学校の不登校は減少したものの、全体的には暴力行為・いじめ・不登校ともに増加している。

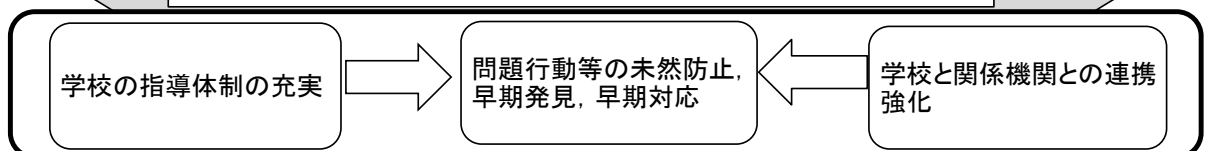
これらの問題については、東日本大震災以前からの課題であったが、更に大きな課題として解決に向けて全力で取り組まなければならない。全ての児童生徒が「行きたくなる学校」づくりを目指し、以下の取組を進めていく。

- ① 「志教育」の推進と授業の充実
- ② 問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応に向けた組織体制の一層の整備
- ③ 特に問題を抱えた学校への県教委からの積極的な支援

問題行動等への対応



小・中・高等学校・特別支援学校



## 平成26年度学校の校庭等における空間放射線量測定結果について

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に伴って放出された放射性物質による県内の学校等への影響について、平成25年度までの測定により、 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 以上の施設がなくなったことを確認した。今回、その後の状況を確認するため、市町村及び学校等に測定の協力を依頼し、その結果を取りまとめたところ、概要は下記のとおりであった。

## 記

- 1 測定期間 概ね平成26年7月から8月までの間
- 2 測定施設 県内市町村内の小・中学校、高等学校、幼稚園及び保育所等のうち、測定への協力が得られた1,532施設。

<内訳>	測定実施施設数※	1,532施設
うち 小学校		392施設
中学校		204施設
高等学校		92施設
特別支援学校		24施設
中等教育学校		2施設
幼稚園		194施設
保育所等		614施設
その他		10施設

※小・中学校等で校庭を共有している場合は共有先の施設で測定したものとみなして施設数を算出

- 3 測定方法 小学校、幼稚園、保育所及び特別支援学校は地上高0.5m  
それ以外は地上高1m  
原則として校庭・園庭における5地点の平均
- 4 測定機器 県が各市町村に配備した放射線測定機器 (NaI シンチレーション式サーベイメータ及び簡易型放射線測定器) のほか、各市町村や施設で独自に整備した測定機器。
- 5 結果の概要  $0.23 \mu\text{Sv/h}$ \*以上の施設はみられなかった。  
最大値は $0.17 \mu\text{Sv/h}$ であり、平均値は $0.06 \mu\text{Sv/h}$ であった。  
詳細は裏面のとおり。

\* $0.23 \mu\text{Sv/h}$  : 年間の追加被ばく線量 $1\text{mSv}$ に相当する空間放射線量率。除染を実施する目安値



## 結 果

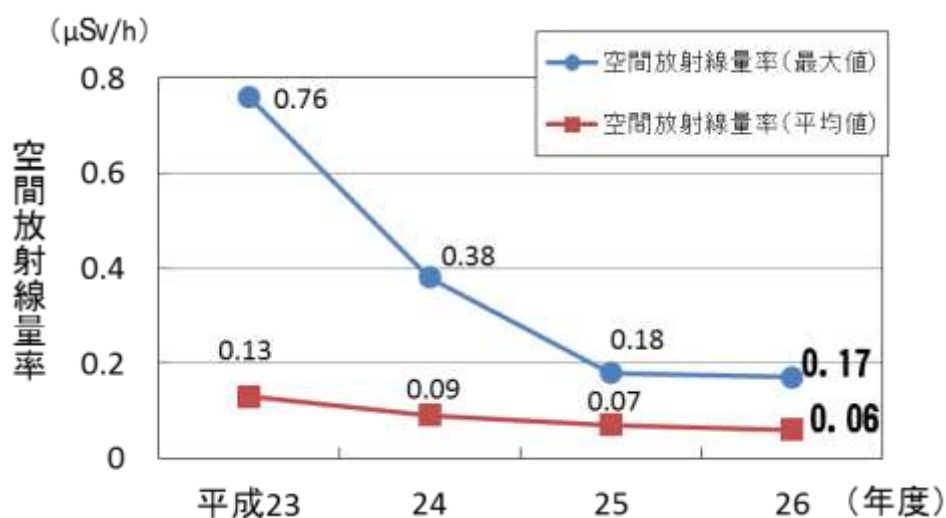
### (1) 測定結果

① 昨年度に引き続き、 $0.23 \mu\text{Sv/h}$  以上を記録した施設はみられなかった。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上を記録した施設数	164 施設 (10.1%)	29 施設 (1.8%)	0 施設 (0%)	0 施設 (0%)

② 最大値は  $0.17 \mu\text{Sv/h}$  であり、平均値は  $0.06 \mu\text{Sv/h}$  であった。セシウム 134 及びセシウム 137 の物理的減衰及びウェザリング効果\*などにより、昨年度と比較してやや低下した。

\*ウェザリング効果：風雨などの自然要因による減衰



▲ 空間放射線量率の推移

### (2) その他

- ・市町村ごとの平均値等は別紙のとおり
- ・各学校等の測定結果の詳細は「放射能情報サイトみやぎ」で公表
- ・WEB公表のURL (<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/school/>)

## 平成26年度学校の校庭等における空間放射線量測定実施施設の市町村別内訳

市町村名	平成26年度		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援学校	保育所等						その他	合計	
	平均 $\mu$ Sv/h	最大 $\mu$ Sv/h							保育所	へき地保育所	児童館	子育て拠点施設	認可外保育施設	認定こども園			計
仙台市	市立小・中学校	0.05	0.08		126	64											190
	その他学校	0.06	0.11		1	3	27	1	8								40
	保育所等	0.05	0.09							140		76		55		271	271
	幼稚園	0.06	0.12	40													40
石巻市	0.06	0.09	11	34	18	8		1	31				5		36	108	
塩竈市	0.05	0.07	6	7	5	2			10						10	30	
気仙沼市	0.06	0.10	11	18	13	5		1	9	11	3		4		27	75	
白石市	0.12	0.17	3	10	5	2		1	8		2				10	31	
名取市	0.07	0.10	7	10	5	3		1	7		7			1	15	41	
角田市	0.08	0.11	4	8	3	1		1	2		6			1	9	26	
多賀城市	0.06	0.11	7	6	4	3	1		11		2				13	35	
岩沼市	0.08	0.13	4	4	4	1		1	11		4	1	3		19	33	
登米市	0.06	0.09	16	22	10	5		1	18				9		27	81	
栗原市	0.08	0.14	14	14	8	5		2	11						11	54	
東松島市	0.06	0.09	4	9	3	2			7						7	25	
大崎市	0.06	0.13	20	30	13	8		1	28	6	16	1	6		57	6	135
蔵王町	0.08	0.11	3	5	3	1			2		5		2		9	21	
七ヶ宿町	0.10	0.13		1	1	2			1						1	5	
大河原町	0.10	0.14	1	3	2	2			4		1				5	13	
村田町	0.07	0.10	2	2	2	1			1		2				3	10	
柴田町	0.07	0.10	5	6	3	1		1	3		1				4	2	22
川崎町	0.07	0.08	1	4	2	1								1	1	9	
丸森町	0.10	0.14		10	1	1			3	1	2			1	7	19	
亘理町	0.05	0.10	2	6	3	1			4		3		2		9	21	
山元町	0.09	0.13	2	3	2			1	2						2	10	
松島町	0.06	0.07	3	3	1	1			3						3	11	
七ヶ浜町	0.05	0.07	5	3	2				1			1			2	12	
利府町	0.06	0.07	3	6	3	1		1	6		1	1		1	9	23	
大和町	0.05	0.07	2	7	2	1			3		6				9	21	
大郷町	0.05	0.05	1	1	1											3	
富谷町	0.05	0.07	5	7	5	1		1	7						7	26	
大衡村	0.06	0.07		1	1						1			1	2	4	
色麻町	0.05	0.07	1	1	1	1			2						2	6	
加美町	0.08	0.12	3	9	3	1			1					5	6	22	
涌谷町	0.06	0.07	4	4	2	1			1		2		1		4	15	
美里町	0.06	0.09	3	6	3	2		2	2		4		5		11	27	
女川町	0.08	0.09		1	1				2						2	1	5
南三陸町	0.06	0.08	1	4	2	1			2	1			1		4	12	
県全体	0.06	0.17	194	392	204	92	2	24	343	19	144	4	93	11	614	10	1,532





## 教育庁関連情報一覧（平成26年9月9日～平成26年10月19日）

NO.	概要																																								
1	<p data-bbox="379 1133 416 1973">○第9回若年者ものづくり競技大会で宮城県選手が入賞者</p> <p data-bbox="427 589 611 1944">第9回若年者ものづくり競技大会に出場し、入賞等を果たした7名の選手とその関係者が、その報告のため9月9日（火）に県を表彰訪問した。本競技大会は、企業等にまだ就業していない20歳以下の若年者を対象に更なる技能向上により就業促進を図り、若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として開催されている。</p> <div data-bbox="403 170 694 555" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="671 1760 703 1906">【大会概要】</p> <table data-bbox="719 461 1137 1895"> <tr> <td>大会名</td> <td colspan="3">第9回若年者ものづくり競技大会（同時開催：技能五輪全国大会「旋盤」職種選手選考会）</td> </tr> <tr> <td>期 日</td> <td colspan="3">平成26年7月27日（日）～31日（木）&lt;ものづくり&gt;：27日～29日，技能五輪30日～31日&lt;&gt;</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td colspan="3">山形市ビッグウイング ほか3会場</td> </tr> <tr> <td>結 果</td> <td>第1位（厚生労働大臣賞）</td> <td>小林 渉</td> <td>宮城県工業高等学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2位</td> <td>佐藤 大輔</td> <td>宮城県立大崎高等学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第3位</td> <td>遠藤 礼門</td> <td>宮城県工業高等学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第3位</td> <td>渡邊 大貴</td> <td>宮城県工業高等学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>敢闘賞</td> <td>真壁 亮</td> <td>宮城県工業高等学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電子回路組立て</td> <td>佐藤 大地</td> <td>東北職業能力開発大学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旋盤</td> <td>伊藤 雄一</td> <td>宮城県工業高等学校</td> </tr> </table> <p data-bbox="1273 159 1310 450">（担当：高校教育課）</p>	大会名	第9回若年者ものづくり競技大会（同時開催：技能五輪全国大会「旋盤」職種選手選考会）			期 日	平成26年7月27日（日）～31日（木）<ものづくり>：27日～29日，技能五輪30日～31日<>			会 場	山形市ビッグウイング ほか3会場			結 果	第1位（厚生労働大臣賞）	小林 渉	宮城県工業高等学校		第2位	佐藤 大輔	宮城県立大崎高等学校		第3位	遠藤 礼門	宮城県工業高等学校		第3位	渡邊 大貴	宮城県工業高等学校		敢闘賞	真壁 亮	宮城県工業高等学校		電子回路組立て	佐藤 大地	東北職業能力開発大学校		旋盤	伊藤 雄一	宮城県工業高等学校
大会名	第9回若年者ものづくり競技大会（同時開催：技能五輪全国大会「旋盤」職種選手選考会）																																								
期 日	平成26年7月27日（日）～31日（木）<ものづくり>：27日～29日，技能五輪30日～31日<>																																								
会 場	山形市ビッグウイング ほか3会場																																								
結 果	第1位（厚生労働大臣賞）	小林 渉	宮城県工業高等学校																																						
	第2位	佐藤 大輔	宮城県立大崎高等学校																																						
	第3位	遠藤 礼門	宮城県工業高等学校																																						
	第3位	渡邊 大貴	宮城県工業高等学校																																						
	敢闘賞	真壁 亮	宮城県工業高等学校																																						
	電子回路組立て	佐藤 大地	東北職業能力開発大学校																																						
	旋盤	伊藤 雄一	宮城県工業高等学校																																						

NO.	概要
2	<p><b>○富谷町立日吉台小学校5年生の小幡心里さんが全国小学生学年別柔道大会で優勝</b></p> <p>第11回国小学生学年別柔道大会に宮城県代表として出場し、5年生女子40kg級で優勝した富谷町立日吉台小学校の小幡心里さんが及び関係者が、その報告のため9月16日（火）に県を表敬訪問した。</p> <p><b>【大会概要】</b></p> <p>大会名 第11回国小学生学年別柔道大会  期日 平成26年8月17日（日）  会場 岩手県盛岡市アイスアリーナ  結果 5年生女子40kg級 優勝（48名出場）</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p> 
3	<p><b>○第69回国民体育大会に参加する県選手団が結団式を開催</b></p> <p>第69回国民体育大会に参加する県選手団が9月24日（水）に県庁1階ロビーで結団式を開催した。監督、選手をはじめ約200人が参加し、全国高校総体の相撲個人で第3位に入った富栄秀喜選手（宮城県小牛田農林高校3年）が決意表明した。</p> <p><b>【大会概要】</b></p> <p>大会名 第69回国民体育大会  期日 平成26年10月12日（日）～22日（水）  会場 長崎県</p> <p>※昨年（平成25年）の第68回大会では、前回大会を上回る天皇杯21位</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p>  

NO.	概要
4	<p><b>○JR東日本東北・日本製紙石巻・七十七銀行が第40回社会人野球日本選手権に出場</b>  第40回社会人野球日本選手権に東北代表として出場する選手及び関係者が、その報告のため9月30日（火）に県を表彰訪問した。</p> <p><b>【大会概要】</b>  大会名 第40回記念社会人野球日本選手権大会  期 日 平成26年11月1日（土）から11日間  会 場 京セラドーム大阪</p>  <p>(担当：スポーツ健康課)</p>
5	<p><b>○志教育フォーラム2014～志が未来をひらく講演会～を開催</b>  児童生徒が将来にわたり自らの生き方を主体的に探求する意欲をもつことの大切さを広く県民の皆様知らせ、志教育の理念の一層の普及・啓発を図るため、志教育フォーラム2014～志が未来をひらく講演会～を開催した。</p> <p><b>【概要】</b>  日 時 平成26年10月4日（土）午後2時から午後4時15分まで  場 所 宮城県庁行政庁舎2階 講堂  講 演 テーマ「志が未来をひらく」  講 師 比田井 和孝氏（上田情報ビジネス専門学校副校長）  対 象 一般県民，教職員，教育関係者，保護者，児童生徒  参 加 約350人</p>  <p>(担当：義務教育課)</p>

NO.	概要
6	<p><b>○みやぎ高校生秋のマナーアップ・キャンペーンを開催</b></p> <p>JR東日本と連携し、仙台市交通局、宮城交通等の協力のもと、高校生が駅や車内において乗車マナーの向上を図るためのキャンペーンを実施した。</p> <p>【概要】</p> <p>日程 10月6日(月)～10月15日(水)</p> <p>場所 ①オープニングセレモニー  10月8日(水) 7:30～7:40 JR仙台駅 西口タクシー乗り場付近  10月10日(金) 7:00～7:10 JR古川駅 駅事務室前</p> <p>②呼びかけ運動(利用者への呼びかけ(構内放送, 車内放送を含む)とティッシュの配布)</p> <p>10月6日(月)～9日(木)・15日(水) JR仙台駅を含め仙台, 県南地区のJR23駅  10月8日(水)・10日(金) JR古川駅を含め石巻・大崎・栗原地区のJR13駅</p> <p>参加 県内高等学校等54校の代表生徒, みやぎ高校生マナーアップ運動連携団体</p> <p>(担当: 高校教育課)</p> 
7	<p><b>○石巻市立住吉中学校3年生の平塚新夢さんがIMG A世界ジュニアマッチプレー大会(ゴルフ)に出場</b></p> <p>今年開催された世界ジュニアゴルフ選手権(13-14歳の部)で第7位となり, IMG A世界ジュニアマッチプレー大会(ゴルフ)に出場する石巻市立住吉中学校3年の平塚新夢さん及び関係者が, その報告のため10月14日(火)に県を表敬訪問した。</p> <p>【大会概要】</p> <p>大会名 IMG A世界ジュニアマッチプレー大会</p> <p>日程 平成26年12月11日(木)～12月16日(火)</p> <p>会場 アメリカ フロリダ州</p> <p>(担当: スポーツ健康課)</p> 

## 平成27年3月高等学校卒業者の就職内定状況(9月末現在)について

	H26.3月末	H26.7月末	H26.8月末	H26.9月末	前年同月	増減 (当月－前年同月)
内定率	98.6%	—	—	43.0%	37.3%	5.7%
男子	98.9%	—	—	45.5%	39.3%	6.2%
女子	98.2%	—	—	39.7%	34.5%	5.2%
全国平均	96.6%	—	—	—	—	—

## 内訳

卒業者	19,869	20,040	20,027	20,019	19,957	62	
進学希望者	14,786	14,727	14,771	14,811	14,706	105	
臨時的仕事希望者	241	58	68	75	70	5	
進路未定者	61	176	140	136	130	6	
就職希望者	4,781	5,079	5,048	4,996	5,051	-55	
内訳	県内	4,069	4,465	4,289	4,189	4,298	-109
	県外	712	614	759	807	753	54
	職安・学校紹介	4,041	4,262	4,178	4,109	4,163	-54
	縁故・自営	371	128	171	192	230	-38
	公務員	369	689	699	695	658	37
就職内定者	4,713	—	—	2,149	1,882	267	
内訳	県内	4,006	—	—	1,622	1,469	153
	県外	707	—	—	527	413	114
	職安・学校紹介	3,996	—	—	2,089	1,820	269
	縁故・自営	352	—	—	60	62	-2
	公務員	365	—	—	0	0	0
就職未内定者	68	—	—	2,833	3,169	-336	
月間受験者数	86	—	—	4,054	3,949	105	

## 【概況】※( )内は前年同月

- ① 就職内定率 : 43.0% (37.3%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 74.0% (73.7%) 就職 25.0% (25.3%)  
 割合状況 : 臨時的仕事 0.4% (0.4%) 未定 0.7% (0.7%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 83.8% (85.1%) 県外 16.2% (14.9%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 38.7% (34.2%) 県外 65.3% (54.8%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 75.5% (78.1%) 県外 24.5% (21.9%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他	総合学科
平成26年度	32.7%	39.5%	65.0%	39.1%	54.5%	45.9%	26.3%	43.7%
平成25年度	28.1%	40.2%	55.3%	37.8%	38.8%	31.6%	10.9%	34.9%

## ⑦地域別内定状況

地域別内定率	仙台	大和	石巻	塩釜	古川	大河原	白石	築館	迫	気仙沼
平成26年度	43.0%	45.9%	33.5%	40.4%	44.3%	40.7%	65.7%	42.2%	45.1%	42.9%
平成25年度	37.3%	38.6%	33.9%	31.7%	36.5%	33.9%	57.4%	32.8%	37.8%	45.4%

## ⑧宮城労働局発表 県内求人倍率(9月末現在)(職安学校紹介のみ、ただし支援学校・通信制含む)

	21年3月卒	22年3月卒	23年3月卒	24年3月卒	25年3月卒	26年3月卒	27年3月卒
県内求人数	4,938	2,748	2,647	3,009	5,473	6,643	8,357
県内求職者数	4,505	3,916	3,850	3,098	3,481	3,512	3,459
求人倍率	1.10	0.70	0.69	0.97	1.57	1.89	2.42





イメージキャラクター  
（仙台・宮城観光PR担当職員）  
【むすび丸】

水産  
- Fisheries -

農業  
- Agriculture -

家庭  
- Home Economics -

情報  
- Information -

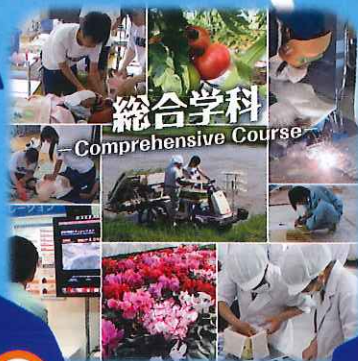
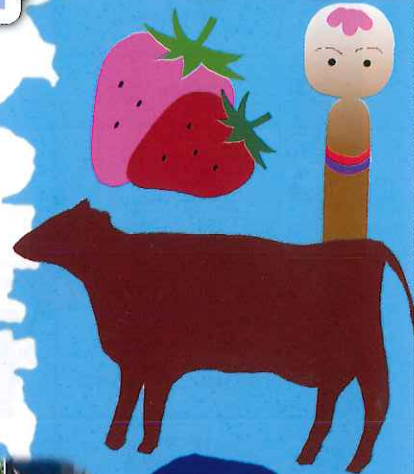
第24回 全国産業教育フェア宮城大会

# さんフェア宮城2014

繋げよう  
広げよう  
伝えよう  
みやぎから



福祉  
- Social Welfare -



総合学科  
- Comprehensive Course -



特別支援教育  
- Special Support Education -

工業  
- Technical -

開催期間

平成26年11月

8日  
土

9日  
日

会場

まなウェルみやぎ / 名取市文化会館 / 名取市民体育館  
セキスイハイムスーパーアリーナ / 仙台港

（主催）

第24回全国産業教育フェア 宮城大会 実行委員会  
文部科学省、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会  
名取市、名取市教育委員会、石巻市教育委員会  
利府町教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会  
全国産業教育振興会連絡協議会、宮城県産業教育振興協会

（お問合せ）

第24回全国産業教育フェア 宮城大会 実行委員会事務局  
（宮城県教育庁高校教育課 キャリア教育班内）  
TEL: 022-211-3625 FAX: 022-211-3696  
<http://www.sanfair-miyagi.myswan.ne.jp>



商業  
- Commercial -



看護  
- Nurse -

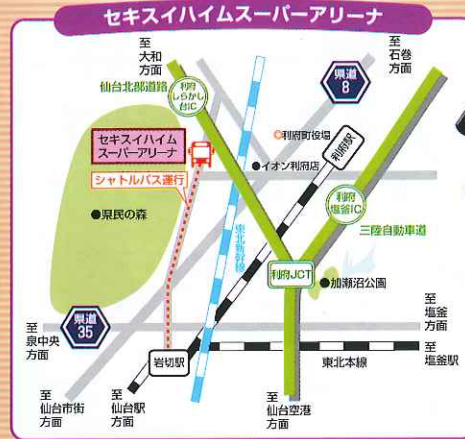
# 第24回 全国産業教育フェア宮城大会 開催日程



会場	日程	11月														
		8日(土)							9日(日)							
		9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	
まなウエルみやぎ	1F 総合教育センター センターラウンジ	看護部、福祉部 作品展示(全国・県内) 実演・体験コーナー							看護部、福祉部 作品展示(全国・県内) 実演・体験コーナー							
	1Fリハビリテーション支援センター 子ども総合センター 展示ラウンジ	看護部、福祉部 実演・体験コーナー 介護・福祉用品展示							看護部、福祉部 実演・体験コーナー 介護福祉用品展示							
	3F 総合教育センター 第1研修室 第2研修室							事前説明会	介護技術コンテスト(福祉部)						介護技術表彰	
	体育館	キッズビジネスタウン(商業部)														
	名取市文化会館	1F 大ホール	開会式 ポスター 表彰式等	意見・体験発表								ファッション ショー (家庭部)			閉会式	
		1F エントランスホール	受付・総合案内 企業・大学・専門学校等展示							受付・総合案内 企業・大学・専門学校等展示						
		1F レストラン	高校生レストラン							高校生レストラン						
		2F 中ホール	英語 スピーチコンテスト (商業部)	休憩	英語 スピーチコンテスト (商業部)	英語 スピーチ 表彰	作品研究発表 リハーサル				作品・研究発表					
		2F 中ホール ホワイエ	知的財産に関する創造力・実践力開発事業 全国の専門高校等の生徒による 知財学習成果の発表(展示)							知的財産に関する創造力・実践力開発事業 全国の専門高校等の生徒による 知財学習成果の発表(展示)						
		2F 展示ギャラリー	フラワーアレンジメントコンテスト(農業部)							フラワーアレンジメントコンテスト作品展示 (農業部)						
3F 小ホール		フラワーアレンジメントコンテスト(農業部)						知的財産に関する研究発表				知的財産 発表 表彰				
3F 小ホール ホワイエ		フラワーアレンジメントコンテスト(農業部)														
名取市民体育館	1F アリーナ 2F 武道場	○震災復興関係展示 ○作品展示・学校生産物等展示販売(全国・県内) ○実演・体験コーナー(県内) 農業、工業、商業、水産、家庭、総合、情報、特別支援、次期開催県、文部科学省							○震災復興関係展示 ○作品展示・学校生産物等展示販売(全国・県内) ○実演・体験コーナー(県内) 農業、工業、商業、水産、家庭、総合、情報、特別支援、次期開催県、文部科学省							
	1F アリーナステージ	参加・交流イベント(学科紹介等)							参加・交流イベント(学科紹介等)							
	体育館前 イベント広場	○作品展示・学校生産物等展示販売(県内) ○実演・体験コーナー(県内) 農業、工業、商業、水産、家庭、総合、情報、特別支援							○作品展示・学校生産物等展示販売(県内) ○実演・体験コーナー(県内) 農業、工業、商業、水産、家庭、総合、情報、特別支援							
	イオンモール名取PRブース (11月2日 事前PR活動) 13:00~14:00	PR ブース							PR ブース							
利府町	セキスイハイム スーパーアリーナ (メインアリーナ)	ロボット競技大会(工業部)							ロボット競技大会(工業部)							
		公式練習(~12:45)				開会式			競技(~15:10)				閉 幕 (15:30 ~16:30)			
仙台市	仙台港	海洋実習船「宮城丸」船内見学							海洋実習船「宮城丸」船内見学							
	仙台ガーデンパレス	全国産業 教育振興 大会														

## 会場案内図

●公共交通機関又はシャトルバスをご利用ください。  
●シャトルバスの運行時刻はさんフェア宮城のウェブサイト(<http://www.sanfair-miyagi.myswan.ne.jp/htdocs/>)に掲載しています。



# 全国生涯学習 ネットワークフォーラム



2014  
宮城大会  
[平成26年度]



つながる力が地域をつくり未来をひらく ~震災からの学びと気づきを次の一歩へ~

## プレフォーラム

平成26年

開催日

10月30日(木)

会場

ゆうがくかん  
石巻市遊楽館

## メインフォーラム

平成26年

開催日

11月18日(火)

~19日(水)

会場

日立システムズホール仙台  
(仙台市青年文化センター)

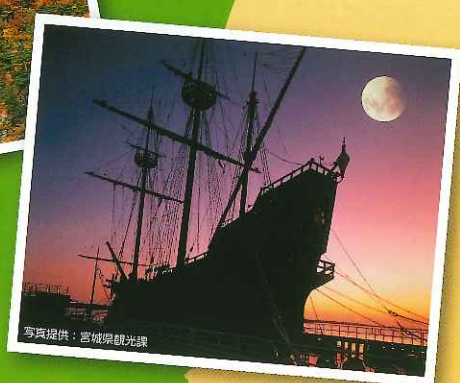
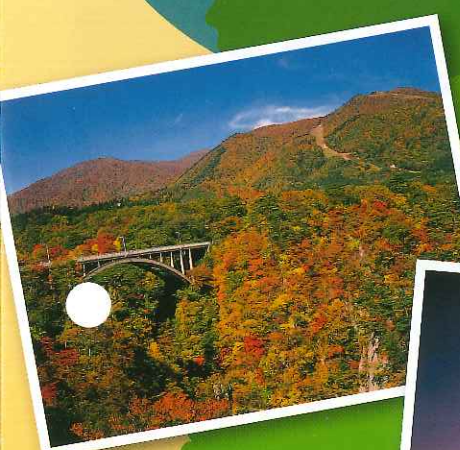
## 沿岸地域訪問

平成26年

開催日

11月20日(木)

- ①気仙沼市・南三陸町コース
- ②石巻市・東松島市・女川町コース
- ③名取市・亘理町・山元町コース



写真提供：宮城県観光課

内容の詳細は [こちら](#) をご覧ください。スマホ・携帯電話は [こちら](#) から

ネットワークフォーラム2014宮城大会

検索



■主催/全国生涯学習ネットワークフォーラム 2014 宮城大会 実行委員会

全国生涯学習ネットワークフォーラム 2014 宮城大会 実行委員会事務局  
(宮城県教育庁 生涯学習課 生涯学習振興班内)

お問い合わせ

TEL 022-211-3652 FAX 022-211-3697

E-mail syogakl@pref.miyagi.jp (syogakの次の文字は「エル」です)



笑顔咲くたび  
伊達な旅

仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

11月18日 [火] 10:00~16:30

日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5  
TEL. 022-276-2108

## オープニングイベント

### 被災地域の郷土芸能等

## 開会行事

## イントロダクション

### 復興に向けたみやぎの歩み・プレフォーラムの成果

## パネルディスカッション

### 宮城から発信する震災からの学びと気づき

東日本大震災によって、私達は多くの尊い命や様々なものを失いました。しかしながら、そこから得た学びや気づきもありました。それは、子どもの力や、地域における普段からのつながりの大切さなどでした。

震災で最も被害が大きかった宮城県だからこそ伝えたい、震災からの学びと気づきの事例をパネルディスカッション形式でご紹介します。

コーディネーター：宮城教育大学教育復興支援センター 副センター長……野澤 令照 氏

パネリスト：プランニング開 代表取締役……………新田 新一郎 氏

学校支援地域本部「黒松もりあげ隊」スーパーバイザー…今野 久美子 氏

南三陸町立戸倉小学校 教頭……………坂本 忠厚 氏

## グループワークI・全体会

### 震災からの学びと気づきを生かすために

震災からの学びと気づきを自らの活動に活かすきっかけとなるよう、下記のテーマに分かれて、グループワークで互いに学び、全体会で共有します。

**テーマ1** 『地域づくりに子どもの力を生かすためには』

**テーマ2** 『普段からの地域のつながりをどうつくり、どう育てるか』

**テーマ3** 『地域活動を支える人々を生かすには』

コーディネーター：宮城教育大学教育復興支援センター・副センター長…野澤 令照 氏

## 参加団体等活動紹介パネル・活動事例冊子について

参加団体等の活動状況を広く知ってもらうとともに、今後の活動の広がりやネットワークづくりのきっかけとしていただくため、各団体の活動状況を紹介したパネルの掲示や冊子の作成を行います。

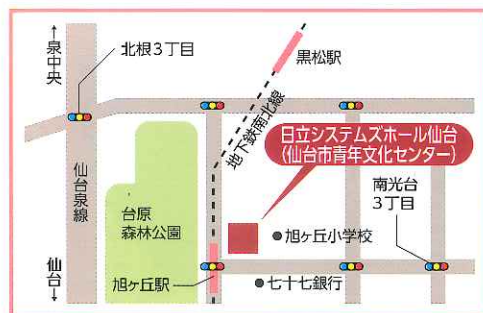
別紙「参加団体等活動紹介パネルについて」と「参加団体等活動事例冊子について」をご覧いただき、お申し込みください。

# メインフォーラム

2日目

# 11月19日 [水]

9:30~16:30



## 事例発表

### 全国の事例からつかむ課題解決の糸口

下記のテーマで4人の事例発表者の方から、それぞれの活動事例のエッセンスを紹介していただきます。そこから、地域課題解決の糸口を探り、課題解決に向けた取組につなげる機会とします。

- テーマ1 (仮) 『公民館活動を活かした地域づくり』**  
島根県浜田市立安城公民館 主事 …………… 藤井 礼子 氏
- テーマ2 (仮) 『地域の体力を考えた夢プランと地域づくり』**  
山口県周南市馬島公民館主事(元地域おこし強力隊員) …… 大友 翔太 氏
- テーマ3 (仮) 『自治会活動を活かした地域づくり』**  
東京都立川市大山自治会 会長 …………… 佐藤 良子 氏
- テーマ4 (仮) 『誰でも先生, 誰でも生徒』地域のみんなでつくる学びの場**  
一般社団法人アスバシ教育基金 代表理事  
愛知サマーセミナー実行委員会 副実行委員長 …………… 毛受 芳高 氏

## 質疑応答・グループワークⅡ・全体会

### 学びと気づきを次の一歩へ!!

全国事例の発表者への質疑応答を行います(事前申込でテーマごとに分かれます)。その後、フォーラム全体をとおして、今後、「何が実践でき、そのために何が必要か」をグループワークで熟議し合い、さらに自らの次の行動について考え、行動に移す機会とします。

コーディネーター: 東北学院大学 教授 …………… 水谷 修 氏  
一般社団法人ワカツク 代表理事 …… 渡辺 一馬 氏

## 閉会行事

フォーラム全体の総括をします。

高崎経済大学 教授 …………… 大宮 登 氏  
全国コミュニティ・スクール連絡協議会 顧問 …… 貝ノ瀬 滋 氏

## ポスターセッション・活動団体紹介

フォーラム参加団体等や宮城県内の大学で取り組んでいる、地域連携などの活動について、ポスターセッションによる紹介を行います。

## 沿岸地域 訪問

# 11月20日 [木]

### 被災地の“今”を知る～震災を忘れないために～

沿岸地域を訪問し、被災地の今を知っていただきます。

- ① 気仙沼市・南三陸町コース
- ② 石巻市・東松島市・女川町コース
- ③ 名取市・亘理町・山元町コース

※コースの詳細は調整中です。決まり次第、大会HPに掲載いたします。

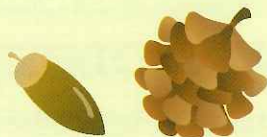
# プレフォーラム

※宮城県内で活動している方が  
中心となります。

# 10月30日 [木] 10:00~16:20

## 石巻市 遊楽館

〒 987-1103 宮城県石巻市北村字前山15-1  
TEL. 022-72-3561



## 開会行事・オリエンテーション

## 交流セッション

## 参加団体等の活動状況紹介と課題の共有

参加団体等の活動状況を紹介したパネルを自由に見学し、互いの活動内容を知る機会とします。  
また、グループワークで課題の共有を図りながら、交流を深めていきます。

コーディネーター：プランニング開 代表取締役 …… 新田 新一郎 氏  
東北学院大学 教授 …… 水谷 修 氏

## 参加団体等活動紹介パネル・活動事例冊子について

参加団体等の活動状況を広く知ってもらおうとともに、今後の活動の広がりやネットワークづくりのきっかけとして  
いただくため、各団体の活動状況を紹介したパネルの掲示や冊子の作成を行います。

別紙「参加団体等活動紹介パネルについて」と「参加団体等活動事例冊子について」をご覧ください、お申し込み  
ください。

## パネルディスカッション

## 活動の継続と更なる充実, ネットワーク形成に向けて

下記の方々をパネリストとしてお迎えし、午前の交流セッションで話題となった課題等に触れながら、  
様々な観点から、今後の活動継続と更なる充実や、ネットワーク形成に向けてのヒントを探ります。

コーディネーター：石巻専修大学 教授 …… 木村 民男 氏  
パネリスト：神戸大学 教授 …… 松岡 広路 氏  
いのちの森をつくる会 会長 …… 古藤野 靖 氏  
一般社団法人ReRoots 代表理事 …… 広瀬 剛史 氏

## グループワーク・全体会

交流セッションで抽出された課題やパネルディスカッションの内容を踏まえてグループワークを行い、  
今後の活動継続と更なる充実や、ネットワーク形成に向けて熟議し、全体で共有します。

コーディネーター：東北学院大学 教授 …… 水谷 修 氏  
プランニング開 代表取締役 …… 新田 新一郎 氏



「生誕200年」

開館時間：午前9時30分～

休館日：月曜日[ただし11月3]

資料配付 (6)

主催：宮城県美術館 | 河北新報社 | 仙台放送

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 | 岩手めんこいテレビ | さくらんぼテレビジョン | 福島テレビ

特別協賛：杜の都信用金庫 | 協賛：サン・ベンディング東北 | 企画協力：ホワイトインターナショナル



愛しき  
ものたちへの  
まなざし

レ

2014年

11月1日(土)～

12月14日(日)

ル

宮城県美術館

The Miyagi Museum of Art

展



《刈り入れ》1858年、パステル、カルトン、ひろしま美術館

Jean-François Millet

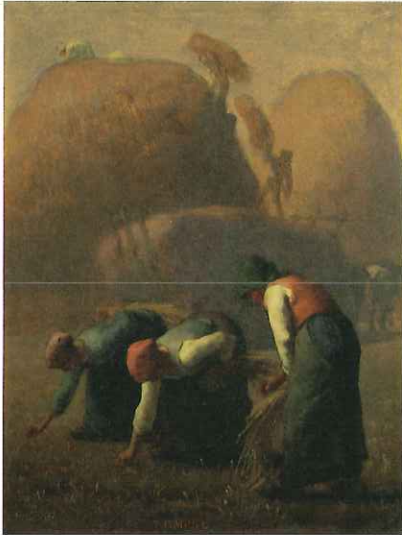
宮城県美術館 THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 | Tel: 022-221-2111 | <http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

ジャン=フランソワ・ミレー(1814-75)は、それまで絵画の主題とはなりえなかった厳しい農民の労働を見つめ、荘厳な農民画の世界を生み出した画家として知られています。その背景には、フランス初の風景画派の誕生の地となった、バルビゾン村の自然豊かな制作環境がありました。また一方で、幼い頃から育まれた自然に対する畏敬、身近な者への慈愛も、その作品を語る上で欠かすことのできない要素です。

家族や近い人たち、大地と自然、そこに根ざして生きる人々や動物たちなど、ミレーは自らが愛情と共感を寄せたものたちをモチーフとし、暖かさや尊厳を備えた作品を描きました。そこにはノルマンディーの寒村で過ごした子供時代のまなざしや、妻と共に9人の子を育てた父親としてのまなざしを感じることができます。

ミレーの生誕200年を記念するこの展覧会では、画風を模索する初期の作品から、バルビゾン村移住後の名品まで、国内外のミレー作品約80点によりその制作の跡を追います。



1



2



3



4



5

- 1:《落ち穂拾い、夏》  
1853年/油彩・カンヴァス/山梨県立美術館
- 2:《子どもたちに食事を与える女(ついばみ)》  
1860年頃/油彩・カンヴァス/リール美術館  
©RMN-Grand Palais / Jacques Quecq d'Henipre / distributed by AMP
- 3:《古い服を着たポーリーヌ・オノ》  
1841-42年/油彩・カンヴァス/トマ・アンリ美術館  
©Daniel Sohier / Musée d'art Thomas-Henry, Cherbourg-Octeville
- 4:《バター作りの女》  
1870年/油彩・カンヴァス/吉野石膏株式会社(山形美術館寄託)
- 5:《鴿鳥番の少女》  
1854-56年/油彩・カンヴァス/ウェールズ国立美術館  
©National Museum of Wales

## [観覧料]

	一般	学生	小・中学生・高校生
当日	1,500円	1,300円	800円
団体(20名以上)	1,400円	1,200円	700円
前売	1,300円	1,100円	600円

## 前売券販売所(発売は8月29日から10月31日まで)

宮城県美術館/藤崎/仙台三越/エスパル/チケットぴあ(Pコード:766-388)  
/ローソンチケット(Lコード:28547)/セブンチケット(セブンコード:033-143)/イー  
プラス <http://eplus.jp>/日専連カウンターアエル店/ニッセンレン・テラス  
セルパ店/宮城県庁1階売店/仙台緑日/河北新報販売店/みやぎ生  
協共同購入部

## [交通案内]



## バス利用の場合

**A:** 仙台駅西口バスプールにて仙台市営バス「交通公園行(広瀬通経由)」[16番乗場]に乗車、二高・宮城県美術館前下車、徒歩3分。または「宮教大行」「動物公園循環」[9番乗場]に乗車、国際センター西下車、北方向へ徒歩8分。

**B:** 広瀬通一番町バス停(仙台フォーラス)からも「交通公園(広瀬通終山)」バスをご利用になれます。

**一ふる仙台バスの場合** 二高・宮城県美術館前下車。

**タクシー利用の場合** 仙台駅から約10分

**高速道路利用の場合** 東北自動車道・仙台宮城ICより仙台方面(仙台西道路)に入り、青葉城趾方面を経由して美術館へ。仙台宮城ICより約15分。

●駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

## [関連事業]

### 講演会 | 「親密な画家ミレー 生涯と作品」

講師: 井出洋一郎(府中市美術館館長、本展監修者)

日時: 11月1日(土)午後2時- / 会場: アートホール

### まちなか美術講座 | 「ミレー芸術の広がり モチーフ・技法・名声」

講師: 小椋山祐幹(当館学芸員) / 日時: 12月6日(土)午後1時-

会場: 東北工業大学一番町ロビー

### 展示解説 |

当館学芸員

日時: 11月2日(日)/11月24日(月・祝)/12月5日(金) 午後2時-

観覧券をお求めの上、2階展示室入り口にお集まりください。

## [次の展覧会]

「わが愛憎の画家たち—針生一郎と戦後美術」

2015年1月31日(土)~3月22日(日)

宮城県美術館  
THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1

Tel: 022-221-2111 | <http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>